

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3-2-9	5	電話	大阪	06(586)3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-1	9	電話	堺	0722(38)1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町3-9-6	6	電話	高槻	0726(71)0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-1	7	電話	河内	0729(62)1131
兵庫支社	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	2	電話	神戸	078(360)3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺栗田町1	1	電話	京都	075(311)7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	1	電話	奈良	0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	5	電話	和歌山	0734(31)2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4-8	8	電話	姫路	0792(85)2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-5-7	7	電話	豊岡	0796(23)2221
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-3-4	4	電話	草津	0775(62)5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町1-2-1	1	電話	彦根	0749(22)3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南呉服町3-4	4	電話	長浜	0749(62)7171
本社・ガスビル サービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	2	電話	大阪	06(202)2221

大阪ガス株式会社

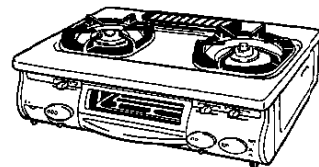
おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

ガステーブルコンロ

10-626/627型

型式名 RTS-4600FS-L
RTS-4600FS-R



取扱説明書

- ご使用前にこの取扱説明書をお読みいただき安全に正しくお使いください。
また付属の保証書も必ずお読みいただき、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 幼いお子様にはさわらせないでください。
- 本製品は家庭用ですので業務用にお使いになると著しく寿命が縮まります。
- この機器は国内専用ですので海外で使用しないでください。

大阪ガス

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガステーブルコンロをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

●安全に正しくお使いいただくために	1・2・3・4・5
●天ぷら油過熱防止機能(標準バーナーのみについています)	5
●各部のなまえ	6
●機器の設置	7・8・9
●使いかた	10・11・12・13・14
●日常の点検とお手入れ	15・16
●故障かな?と思ったら	17
●寸法図	18
●仕様	19
●保管とアフターサービス	20
●別売部品のご紹介	21




安全に正しくお使いいただくために

〈安全に正しくお使いいただくために〉

この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを表しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される、および物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

絵表示について次のような意味があります。



特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください

△危険

ガス漏れに気づいたら絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの入・切、電源プラグの抜き差し、周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

- ①すぐに使用を中止しガス栓を閉める。
- ②窓や戸を開けガスを外へ出す。
- ③お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社に連絡する。



△警告

使用ガスと、銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)が合っていることを確認する。
 転居したときも使用ガスと銘板の表示が合っているか確認する。



合っていない場合そのまま使用すると火災や不完全燃焼の原因となります。銘板は右側面に貼ってあります。使用ガスが不明のときは、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。

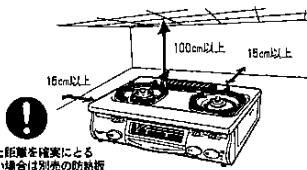
ガス種(ガスグループ)

(99)都市ガス用12A・13Aの銘板

12A・13A	
型式の呼び	都市ガス
12A用	13A用
ガス消費量	ガス消費量
製造年月および製造番号	RN(O)
リンナイ株式会社	

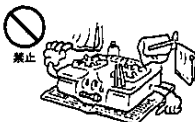
△警告

設置するときは可燃物との距離を確実に離す。また設置後機器の周囲を改造しない。火災予防条例で定められています。必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス板などを直接取り付けご使用になった場合でも熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し火災になることがありますので必ず防火措置をしてください。設置後吊り戸棚などをつける可可燃物との距離が守れなくなり火災の原因となります。



- 可燃物と距離を確実にとる
- 守れない場合は列売の防熱板を取りつける

機器の下に新聞紙やビニールシートなど可燃物を敷かない。また周辺に可燃物を置いたり、可燃性ガスを近くで使用しない。引火して火災・爆発をおこすことがあります。ふきん、カーテン、スプレー缶、ベンジンなどを置かないでください。



火をつけたまま離れない。就寝、外出をしない。調理中のものが異常過熱し火災、機器焼損の原因となります。とくに天ぷら、揚げもの調理をしているときはその場を離れないでください。離れるときは消火してください。



点火するときはバーナー付近に顔を近づけない。炎や熱でやけどをすることがあります。



点火操作を繰り返すときは周囲にガスがなくなるまで待つ。たまったガスに着火しやけどをする原因になります。



グリル排気口をふさがない。火災・一酸化炭素中毒・機器焼損の原因になります。



お手入れが必要なところ以外は絶対に分解したり修理・改造は行わない。ガス漏れや故障の原因になります。



コンロ・グリル使用中はバーナー付近や排気口に体の一部や衣服を近づけない。炎や熱で衣服に燃え移ったり、やけどの原因になります。

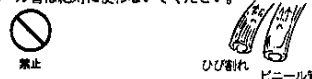


地震、火災、または使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する。あわてずにガス栓をしめてください。故障かな？と思ったら(P17)を参照ください。



△注意

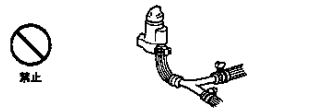
ガス用ゴム管(内径9.5mmφ)以外は使わない。ひび割れたゴム管、古いゴム管は使わない。ガス漏れの原因となります。ゴム管はJISまたは検査合格マークの入ったものを使用してください。ビニール管は絶対に使わないでください。



ゴム管は器体に触れたり、下を通さない。また炎に近づけない。使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れを起こすことがあります。



ゴム管の継ぎし、二又分岐はしない。ガス漏れや使用誤りなどで危険場合があります。



ゴム管はホースエンドおよびガス栓の赤線まで確実に差し込みゴム管止めで止める。ゴム管が抜けたり抜けたら、ガス中毒やガス爆発の原因になります。



グリル水入れ皿は必ず水(200ml)を入れて使う。たまった油脂は取り除く。水がない場合はたまった油脂が過熱されて発火しグリル排気口より炎が出る場合があります。続けて使用する場合はそのつど油脂を取り除き水を入れてください。



グリル焼網の上にアルミはくを敷かない。アルミはくの上に油がたまり発火する原因になります。



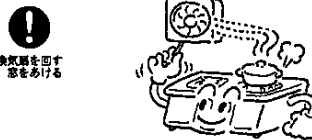
グリルとびらの開閉はゆっくり確実に。グリルとびらを引き出すとき持ち上げたまま引き出すと途中で止まらず落下し、お湯がこぼれてやけどすることがあります。



グリル水入れ皿だけを持って本体より取り外さない。グリルとびらが落下しけがややけどをすることがあります。



使用中は換気をする。一酸化炭素中毒の原因になります。



バーナーキャップを水洗いしたときは水気をじゅうぶん切ってからセットする。炎口が詰まったまま使用すると異常燃焼の原因になります。



△注意

衣類の乾燥や煤炭の火起しなど調理以外の用途に使用しない。

火災や異常過熱し機器焼損の原因になります。



禁止



コンロをおおうような鉄板などは使用しない。

不完全燃焼や異常過熱し機器焼損の原因になります。



禁止



使用中、使用直後はつまみ、取っ手以外は触れない。

やけどをすることがあります。とくに小さいお子様がいらっしゃるご家庭はご注意ください。



触れるな

使用後は消火を確認し就寝・外出時はガス栓を閉める。

消し忘れによる火災の原因になります。



ガス栓を閉める



しる受け皿はバーナーキャップにのせたり、斜めにしてセットしない。

バーナーの炎がしる受け皿の下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。



禁止



アルミはく製する受け皿は使用しない。

炎が接触し異常過熱や不完全燃焼の原因になります。



禁止



やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する。

火力が強いとやかん、なべなどの取っ手が焼損したり、手に触れるとやけどをする原因になります。



なべなどの大きさに合わせて火力調節



魚の裏返し、取り出し時などグリルとびらガラスやグリルとびら上端に触れない。

手や腕が触れるとやけどをすることがあります。



触れるな



グリル使用前にグリル庫内に食品くずやふきんなどが無いことを確認する。

食品くずやふきんが燃えあがる場合があります。



確認する

グリルとびらガラスに水をかけたり傷をつけたり強い衝撃を加えない。

ガラスが割れ、やけどやけがの原因になります。





禁止



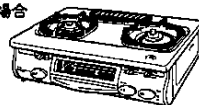
天ぷら油過熱防止機能(標準バーナーのみについてます)

天ぷら油過熱防止機能とは…

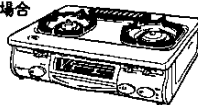
天ぷら、フライなどの揚げもの調理で、調理油の過熱しすぎによって起こる火災を防止する機能です。温度センサーでなべ底の温度を監視し、油が自然発火温度に達する前に自動的にガスを止めます。このとき、プザーが鳴ってお知らせします。

揚げもの調理されるときは、必ずこの機能のついているバーナーを使用してください。
※天ぷら油過熱防止機能がついているバーナーは下図のようにトッププレート上面に「」の表示ラベルと前面パネルに「 揚げもの用」と表示してあります。

10-626型の場合



10-627型の場合



△注意

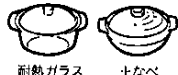
揚げもの調理されるときは、必ず標準バーナー(天ぷら油過熱防止機能付)を使用してください

△警告

油料理には耐熱ガラス容器・土なべなど熱が伝わりにくいものは使用しない。
調理油が発火することがあります。



禁止



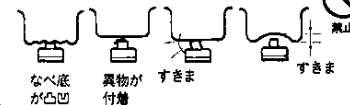
耐熱ガラス 土なべ

温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない。

そのまま使用すると調理油の裏に關係なく発火することがあります。



禁止



調理油は200ml以上入れる(天ぷら油過熱防止機能付の場合)

調理油の量が少ないと発火することがあります。また200ml以上でもなべ底と温度センサーの上面が密着していないと発火することがあります。



調理油の量 200ml以上



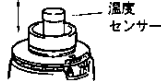
△注意

温度センサーのお手入れはこまめにおこなう。また上下にスムーズに動くことを確認する。

異物がついていたり、温度センサーの動きが悪いとなべ底と密着しないため正常に機能が作動しないことがあります。



確認



温度センサーに強いショックを加えたりキズをつけない。

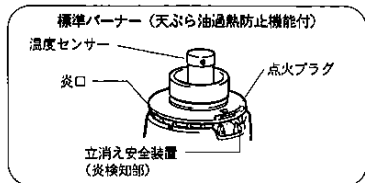
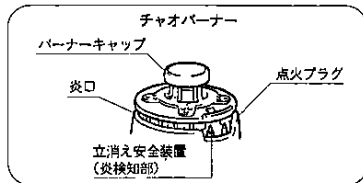
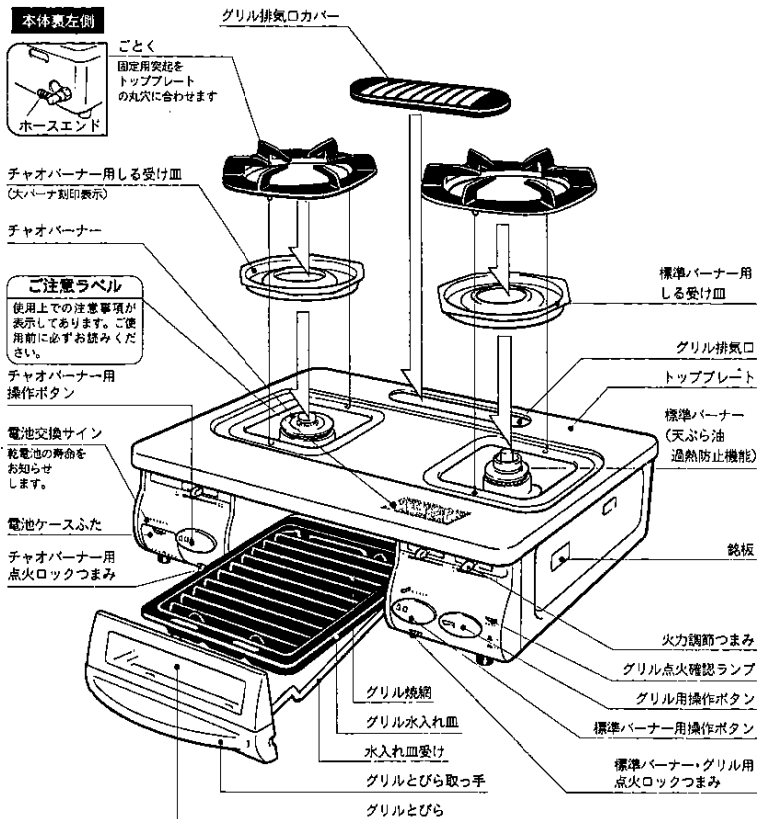
なべ底に温度センサーが密着しなくなり温度センサーが正しく作動しない場合、調理油が発火することがあります。



禁止



各部のなまえ



※図は、10-626型です。10-627型は、チャオバーナーと標準バーナーが左右逆になります。
※1つの操作ボタンを押すと点火装置が働き、チャオバーナーと標準バーナーともにすべてのバーナーの点火プラグから火花がでます。

機器の設置

●設置前の準備と確認

- 型式名、ガス種、製造年月は機器右側面の銘板に表示してあります。
- 銘板のガス(ガスグループ)と使用ガスが合っているか確認します。
- 輸送のため各部分に紙や包装部材がありますので全部取り除いてください。

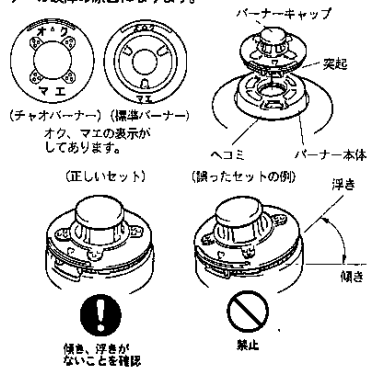
ガスの種類を確かめてください。

型式名	ガスグループ	
	12A・13A	都市ガス
製造年月	12A用	13A用
	ガス消費量	ガス消費量
製造年月および製造番号 R N (O)		
リンナイ株式会社		

●部品の取り付け

バーナーキャップ

「オク」印を後側にしてバーナーキャップの突起部をバーナー本体の凹部に合わせてつけます。バーナーキャップが浮いたり、傾いたりしていると炎が不ぞろいになったり異常燃焼し危険です。また標準バーナーでは温度センサーの故障の原因になります。



お願い

バーナーキャップをセットした後、必ず正常に燃焼しているかどうか確認してください。

乾電池の取り付け

1. 電池ケースのふたを開ける

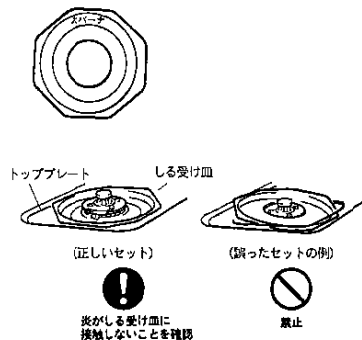


お願い

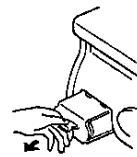
- 乾電池の寿命は約1年を目安としてください。
- 乾電池は①②を確認しながら取り付けてください。

しる受け皿

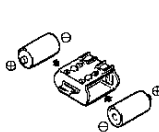
● 内側の穴の大きい方(大バーナー刻印)がチャオバーナー用、小さい方が標準バーナー用です。



2. 電池ケースを引き出す



3. 乾電池を取り付ける



機器の設置

●設置場所および周囲の防火措置

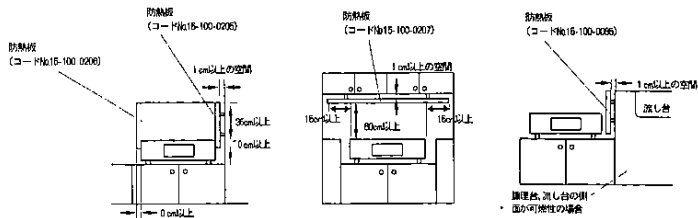
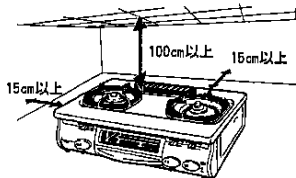
■次のような場所に設置してください。

- ・強い風の吹き込まない場所
- ・丈夫で水平な場所
- ・たなの下など、落下物の危険のない場所
- ・付近にカーテンなど燃えやすいものがない場所
- ・上に樹脂製の照明器具のない場所
- ・上に湯沸器がない場所

■周囲に可燃物の壁、たななどのある場合はつぎのように設置してください。

- ・トッププレートより上の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100 cm以上離して設置します。

■可燃性の壁(ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む)から15cm以上、また、上部は本体上面から100 cm以上離して設置できない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けてから設置します。



- ・防熱板については、お買いもとの販売店、大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス社までお求めください。
- ・指定の防熱板以外は絶対に使用しないでください。

○お願い チャオパーナーは壁側に設置しないでください。

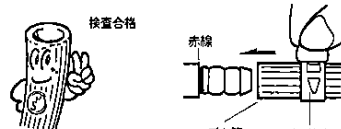
⚠警告

設置するときは可燃物との距離を確実に離す。(火災予防条例で定められています) 距離が近いと火災の原因になります。

機器の設置

●ゴム管の接続

ガス用ゴム管(内径9.5mmφ、JISマーク入り)を用いガス栓と機器のホースエンドとを接続します。このときゴム管はホースエンドおよびガス栓の赤線までしっかり差し込みゴム管止めで固定してください。また器体に触れないようにして接続します。



⚠注意

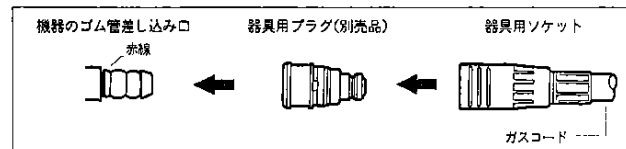
ゴム管は器体に触れたり、下を通さない、また炎やグリル排気口に近づけない
使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れを起こすことがあります。



●ガスコードの接続(ガスコードは13A専用です)

ガスコード接続をする場合は、ガス検測がカチットプラグになっていないと接続できません。従来のガス栓で使用する場合は、別売のホースコック用プラグが必要です。

1 ガス機器側の接続



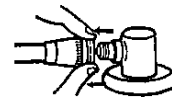
上図のように、まず別売の器具用スリムプラグを器具用スラムプラグ梱包台紙の裏面に記載してある取扱説明に従って器具のゴム管差し込み口に取り付け、次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに「カチッ」と音がするまで押し込みます。
※ガスコードは必ずガステーブルコンロ用をお使いください。
※ガスコードの長さは2m以下にしてください。

①ガス栓を開ける時は



コンセント継手を「カチッ」と音がするまで、確実に差し込んでください。コンセント継手を差し込むとガス栓が開きます。

②ガス栓を閉める時は



コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引きます。コンセント継手がはずれると、ガス栓は閉まります。

※ガス栓がガステーブルコンロ用であることを確認してください。

使いかた

●コンロをお使いになる前に

■調理方法によるコンロバーナーの選びかた

- 標準バーナー** (天ぷら油過熱防止機能付) 天ぷら、フライなどの揚げもの調理、煮もの調理に使用します。
- チャオバーナー** 焼きもの料理や炒めもの料理など、より高温を必要とする調理、煮もの料理、冷凍食品(うどん・そばなどのなべ付の冷凍インスタント食品、カレー・シチューなどのなべごと凍らせた場合など)の再加熱。

お願い 天ぷら油過熱防止機能が付いた標準バーナーは、設定温度になると自動消火します。このため焼きもの料理や炒めもの料理などのより高温を必要とする調理では、途中で消火してしまうことがあります。また冷凍食品(うどん・そばなどのなべ付の冷凍インスタント食品、カレー・シチューなどのなべごと凍らせた場合など)は、温度上昇が遅いため温度センサーが正しく機能しないことがありますのでチャオバーナーをお使いください。

■標準バーナー(天ぷら油過熱防止機能付)の正しい使いかた

なべの選びかた

油料理に適するなべ
鉄やアルミ製のなべ・
天ぷらなべ・フライパン

油料理に適さないなべ
(発火の恐れがあります)

ステンレスやホーロー製の
フライパン・なべ
中華なべ、打ち出しなべ
無水なべ

油料理使用禁止

適さないもの
(調理中に消火する恐れがあります。)

焼き網

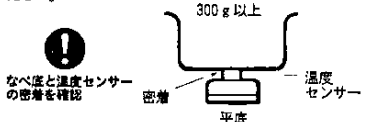
チャオバーナーを
使用してください。

調理油の量

200ml以上で使用してください。少ないと発火することがあります。

なべの重さとのせかた

なべの重さは調理物の重さを含め300g以上が必要です。できるだけ底が平らな金属製のなべを使い、なべ底の中心が温度センサー頭部に密着するよう、正しくセットしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。



警告

油料理は耐熱ガラス容器・土なべなど熱が伝わりにくいものは使用しない。

禁止

耐熱ガラス 土なべ

お願い コンロ上での魚焼き・鉄板焼などはしないでください。トッププレートのフッ素樹脂の色が変わったり、はがれることがあります。

警告

温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない。
そのまま使用すると調理油が発火することがあります。

禁止

なべ底が凸凹 異物が付着 すきま すきま

調理油の量は200ml以上入れる。
少ないと発火することがあります。

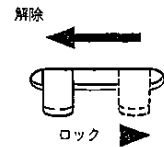
使いかた

●コンロの使いかた

■点火ロック

- 操作ボタンをロックするときは点火ロックつまみを矢印の方向にスライドします。
- 点火操作のときは点火ロックつまみを解除の位置に戻します。

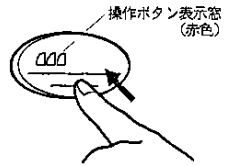
お願い 点火時にロック操作はできません。
点火ロックは左右コンロ・グリルの点火操作がロックされます。



■点火

操作ボタンを矢印の方向に押し込みます。点火装置がはたらき「バチバチ音」とともにコンロバーナーに点火します。バーナーに点火したことを確かめてから数秒間(安全装置がセットされるまで)押し続けます。点火時は表示窓が赤色になります。

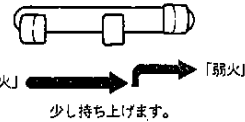
お願い 火力調節つまみの位置が「弱火」のときに操作ボタンを押すと「強火」の方向に移動する構造になっています。
点火するときは必ずなべをのせてください。



※「バチバチ」と放電して炎口に着火します。

■火力調節

火力調節つまみを左右にゆくりとスライドさせて火力を調節します。
「強」：強火になります。
「弱」：弱火になります。
強火から弱火にスライドさせると、火力調節つまみは一度中間で止まります。さらに弱火にしたいときは、火力調節つまみを少し持ち上げてから右に移動させます。



■消火

- 操作ボタンを矢印の方向に押します。操作ボタンが戻り消火します。ボタン表示窓の赤色が消えます。
- 消火したことを確かめます。
- ガス栓を閉じます。
- 使用後は点火ロックつまみを「ロック」の位置にします。



注意

やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する。

火力が強いとやかん、なべなどの取っ手が焼損したり、取っ手に触れるとやけどをする原因になります。

お願い

なべなどの大きさに合わせて火力調節

●グリルをお使いになる前に

グリルとびらの開け方

- グリルとびら取っ手を持って止まるまでゆっくり引き出しそのまま手をそえながら下におろします。



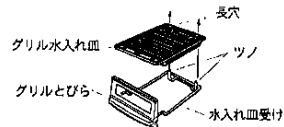
グリル水入れ皿の取り外し方

- グリルとびらの取っ手を持ったまま引き出し、前方を少し持ち上げながら本体より取り外します。



グリル水入れ皿のセット

- グリル水入れ皿の「前」刻印を手前にして、グリル水入れ皿受け後部のツノを差し入れてセットします。



予熱

点火後約3分程予熱し、強い火になってから材料を入れてください。またこのとき、グリル焼網も同時に熱しておくかサラダ油を塗っておきますと材料がグリル焼網に付着しにくくなります。



△注意

グリルとびらの開閉はゆっくり確実に。

グリルとびらを引き出すとき持ち上げたまま引き出すと途中で止まらず落下し、お湯がこぼれてやけどをすることがあります。



ゆっくり確実に



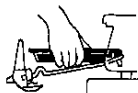
△注意

グリル水入れ皿だけを持って本体より取り外さない。

グリルとびらが落下しけがやけどをすることがあります。



禁止



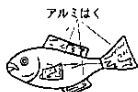
グリル焼網

- グリル焼網はひっくりかえすことにより、網の高さが変わられます。焼きものの種類・大きさによって高い・低いを選んでください。グリル焼網はグリル水入れ皿に入れてご使用ください。



魚焼きのこつ

- 魚は水洗いしたらよく水をふきとります。
- こげやすい部分やニレなどには厚めに塩を振りかけておくか、アルミはくで包んでおくことこげ方が少なくなります。
- 塩を振ったら、おいしさが逃げないうちに焼きます。



●グリルのつかいかた

グリルをはじめてお使いになる場合は、必ず16分くらいから焼きをしてください。部品に付着した油を焼き切るため、このとき煙がでますが異常ではありません。

■点火ロックを解除します。(P11参照)

■点火

操作ボタンを矢印の方向に押し込みます。点火装置がはたらき「パチパチ音」とともにグリルバーナーに点火します。バーナーに点火したことを確かめてから数秒間(安全装置がセットされるまで)押し続けます。点火時は表示窓が赤色になります。またグリル点火確認ランプが点灯します。

操作ボタン表示窓
(赤色)

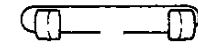


※「パチパチ」と放電してバーナーに着火します。

■火力調節

- 火力つまみを左右にゆっくりとスライドさせて火力を調節してください。

「強」：強火になります。「弱」：弱火になります。



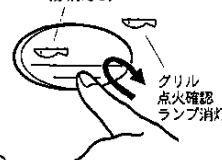
「強」 ← → 「弱」

■消火

操作ボタンを矢印の方向に押します。操作ボタンが戻り消火します。ボタン表示窓の赤色が消え、またグリル点火確認ランプが消灯します。

- 消火したことを確かめます。
- ガス栓を閉じます。
- 使用後は点火ロックつまみを「ロック」の位置にします。

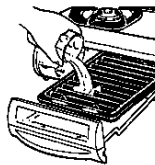
操作ボタン表示窓
(赤消える)



△注意

グリル水入れ皿は必ず水(約200ml)入れて使う。たまった油脂は取り除く。

水がない場合は、たまった油脂が過熱されて発火しグリル排気口より炎が出る場合があります。焼けて使用する場合もそのつど油脂を取り除き水を入れてください。



そのつど水を入れる

お願ひ

- グリル水入れ皿に脂がたまらないように、こまめに掃除をしてください。
- 肉や脂身の多いものを焼く際、煙や炎がグリル排気口から出たり、材料に火が移ったりすることがありますから、注意しながら調理してください。また調理中は離れないでください。
- グリルとびらは必ずしっかりと閉めてご使用ください。グリルとびらが開いたままですと、上部の化粧板が変色したり、トッププレートが熱くなって焼れるとやけどをすることがあります。

●立消え安全装置

煮こぼれなどで火が消えると、ガスを自動的に止めます。

●立消え安全装置が作動したら

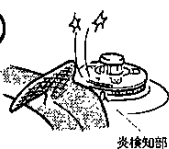
使用中、火が消えたときは？

すぐに操作ボタンを押し消火の状態にしてください。



お願い

- 立消え安全装置(炎検知部)に水滴や煮こぼれがつくと、点火しにくくなったり、消火することがあります。なべの底についた水滴はふきとってから、ごとくの上のせてください。(煮こぼれにも注意してください。)
- 炎検知部に固いものをぶつけないでください。まがったり、変形し、点火しにくくなります。



炎検知部

再点火するときには？

周囲にガスがなくなるまでしばらく待って、炎検知部の汚れをふきとってからご使用ください。

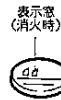
●天ぷら油過熱防止機能(標準バーナーのみ)

消し忘れ・来客応対などによる調理油の加熱しすぎを防止します。

●天ぷら油過熱防止機能が作動したら

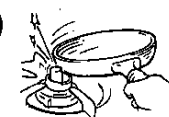
使用中、火が消えたときは？

ブザー「ピー」が連続して鳴ってお知らせします。すぐに操作ボタンを押し消火の状態にしてください。



お願い

- 温度センサー部に強いショックを加えたり、キズをつけたりしないでください。温度センサーが正しく作動しなくなる場合があります。
- 温度センサー部はいつも清潔にしてください。温度センサー部には煮汁や水などをかけないでください。もし、煮汁やゴミが付着したときは、布に水を浸し固くしぼってからふきとってください。また、なべややかんの底も清潔にしてください。
- 温度センサーの働きが悪くなり、なべ底と密着しない場合には、点検・修理を依頼してください。



図は10-626型です。

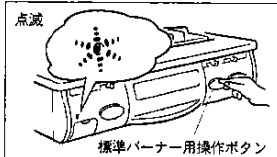
●電池交換サイン

乾電池の交換時期が近づくとお知らせする電池交換サインが付いています。点滅したら新しい乾電池を用意し、点灯に変ったら交換してください。(P7参照)

●点滅から点灯に変わると使用できなくなりますので、乾電池を新しいものに交換してください。

●電池交換サインは、標準バーナーの操作ボタンを押したときだけ作動します。他の操作ボタンを押したとき、乾電池の容量が少なくなっても点滅や点灯はしませんのでご注意ください。

●乾電池が正しくセットされていなかったり、乾電池に全く容量がなくなったりしたときは、電池交換サインは点灯しません。この場合、放電スパークの「パチパチ」音がしませんので、ただちに乾電池を点検してください。



標準バーナー用操作ボタン

日常の点検とお手入れ

警告

点検・お手入れが必要なところ以外は絶対に分解したり、修理・改造は行なわない。ガス漏れや故障の原因になります。



分解禁止

お願い

- 点検・お手入れの前には必ずガス栓を閉じ、機器が冷えてから行なってください。
- けがをしないように手袋などをはめて行ってください。
- 機器本体に水をかけたり、丸洗いをしないでください。

●点検

点検場所	点検内容
ゴム管	古くなってひび割れたり、折れたり、器体に触れたりしていませんか。
バーナーキャップ ごとく、しる受け皿 グリル排気口カバー	正しくセットされていますか。
バーナー本体の炎口部 バーナーキャップ 立消え安全装置の炎検知部 温度センサー	煮こぼれなどがこびりついていませんか。
グリル水入れ皿	油脂がたまっていませんか。
機器周辺	燃えやすいものが置いてありませんか。
温度センサー	指で押したときスムーズに動きますか。また、指を離したときなおにもとの位置に戻りますか。

●お手入れ

お願い

- 機器の表面は塗装、フッ素樹脂などの処理がしてありますので使用する洗剤、たわしなどの種類を確認してください。
- 機器本体には安全に関する注意事項が貼付してあります。汚れたり錆めなくなったときはやわらかい布などで汚れをふきとってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。

使ってよいもの



確認

使っていけないもの



禁止

機器本体・ごとく・しる受け皿

- 中性洗剤でお手入れした後乾いた布で水気を十分とります。

トッププレート

- 表面が汚れたらそのつどぬれふきんでふきとります。※汚れがおちにくいとき
- 中性洗剤で汚れた部分を湿らせておき、しばらくしてからスポンジたわしや布などでふきとります。

もしフッ素樹脂がはがれたら
●下地はステンレスですのでそのままご使用いただけます。

お願い

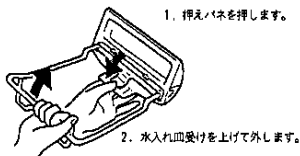
中性洗剤以外の洗剤、かたいもので手入れするとフッ素樹脂がはがれたり、シミや色が変わる原因となりますので使用しないでください。

日常の点検とお手入れ

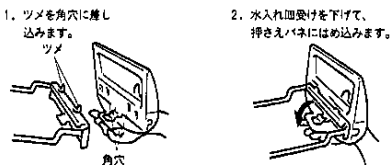
グリル水入れ皿・グリルとびら・グリル水入れ皿受け

中性洗剤で洗って乾いた布で水気をふきとってください。

取り外しがた

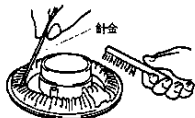


取り付けかた



バーナーキャップ

炎が不ぞろいになったときは炎口をブラシや針金などで汚れを落とします。

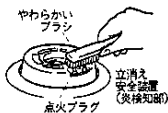


お願い

- 掃除後は正しくセットし正常に燃焼することを確認してください。(P7参照)
- バーナーキャップの黒い部分(炎口は除く)は中性洗剤、スポンジなどで洗ってください。万一、黒い部分がはがれても使用にさしつかえありません。そのままご使用いただけます。

立消え安全装置

炎検知部に汚れがにびりついている部分は歯ブラシなどの柔らかいブラシで汚れを落としてください。



お願い

かたいブラシなどで決してみがかないでください。故障の原因となります。

△注意

バーナーキャップを水洗いしたときは水気をじゅうぶん切ってからセットする
炎口が詰まったまま使用すると異常燃焼の原因になります。

!
水気を切る

温度センサー

温度センサーの頭部についた煮汁やゴミは、布を水に浸し固くしぼってからふきとってください。

△注意

温度センサーのお手入れはこまめにおこなう。また上下にスムーズに動くことを確認する。

異物がついていたり、温度センサーの動きが悪いとなべ底と密着しないため正常に機能が作動しないことがあります。

!
異物をとる
上下動きを確認

故障かな?と思ったら

次のことを調べてください。

現象	原因	処置
点火しない	ガス栓の閉き忘れ	お部屋のガス栓を全開にしてください。
	バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P7参照)
	乾電池が入っていないまたは正しくセットされていない	正しくセットしてください。(P7参照)
	電池ケースが確実に差し込まれていない	確実にセットしてください。(P7参照)
標準バーナー	温度センサーが高温になっている	温度センサーを冷やしてください。
	温度センサーの不良	点検修理を依頼してください。
点火しにくい	ガス栓の開き不十分	お部屋のガス栓を全開にしてください。
	LPGガスがなくなりかけている	新しいボンベに交換してください。
	配管中に空気が残っている	点火操作をくり返してください。 ※朝一番など点火するまでしばらく時間がかかります。
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がり、つぶれを直してください。
	バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P7参照)
	バーナーキャップの炎口づまり	炎口を掃除してください。(P16参照)
点火後しばらくして消火する(標準バーナー)	点火プラグの水ぬれ、汚れ	水ぬれ、汚れを拭き取ってください。
	乾電池の消耗	新しい乾電池と交換してください。(P7、P14参照)
	温度センサーが高温になっている	温度センサーを冷やしてください。
	温度センサーの不良	点検修理を依頼してください。
異常音をたてて燃える	バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P7参照)
爆発的に点火する	バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P7参照)
使用中消火しやすい	立消え安全装置部分の汚れ	立消え安全装置を掃除してください。(P16参照)
黄炎で燃える	バーナーキャップの炎口づまり	炎口を掃除してください。(P16参照)
炎が安定しない	バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P7参照)
ガスの臭いがする	ゴム管の接続が不完全	ゴム管をしっかりと接続してください。
	ゴム管のひび割れ、穴あき	新しいゴム管と交換してください。

なお、異常のあるときやおわかりにならないときは、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社へご連絡ください。不完全な処置は事故のもとになります。

△警告

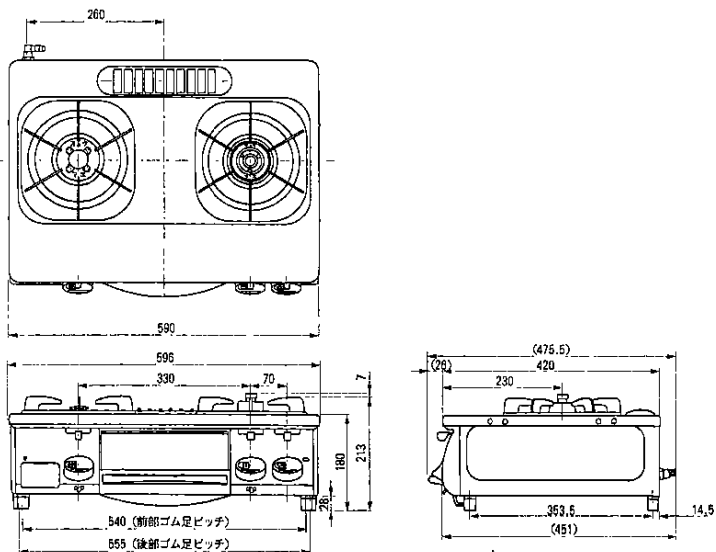
使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する
あわてずガス栓を閉めてください。

こんな場合は故障ではありません。

- はじめてグリルを使用しますとグリル内の加工油が焼けて煙が出ます。約15分くらい、から焼きすれば、それ以後煙はでません。
- 点火の操作をしているとき、「パチパチ」という放電とともに電池交換サインが薄く点滅することがありますが故障ではありません。
- 朝一番など、長時間ガス栓を閉じていたときは、すぐに点火しないことがあります。機器配管内の空気が抜け、バーナーにガスが来るまで数回、点火をくり返してください。
- 消火時に「ボン」という音がすることがありますが、これは火が消えたときの音で異常ではありません。

寸法図

(単位: mm)



仕様

品名	ガステーブルコンロ				
品番	10-626型	10-627型			
型式名	RTS-4600FS-L	RTS-4600FS-R			
点火方式	連続放電点火				
外形寸法	高さ180mm(トッププレートまで)×幅596mm×奥行451mm				
質量(本体)	11kg				
安全装置	立消え安全装置・天ぷら油過熱防止機能(標準バーナー)				
電源	DC3.0V(単1×2個)				
使用ガスの種類 ガスグループ	1時間当りのガス消費量			ガス 接続	
	個別ガス消費量				全点火時 ガス消費量
	チャオバーナー	標準バーナー	グリル		
都市ガス13A	5.35kW (4600kcal/h)	2.67kW (2300kcal/h)	2.44kW (2100kcal/h)	10.3kW (8860kcal/h)	内径 9.5mm
LPGガス	4.40kW (0.315kg/h)	2.45kW (0.176kg/h)	2.48kW (0.178kg/h)	9.20kW (0.66kg/h)	
付属品	乾電池単1-2個				

保管とアフターサービス

●保管（長期間使用しない場合）

- ・ガス栓を閉じてください。
- ・乾電池を電池ケースより抜いてください。
(乾電池の液もれにより、機器をいためることがあります。)

●アフターサービスのお申し込み

（サービスのお申し込み）

- ・サービス(点検・修理)を依頼される前に「故障かな?と思ったら」(17ページ)の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社ご連絡ください。
- ・ご連絡の際には次のことをお知らせください。
 1. 品名……………ガステーブルコンロ
 2. 品番……………本体の左側面に貼付してあります。
例

(N) 10-626 (U)
大阪ガス株式会社 08
 3. 故障、異常の現象……………できるだけ詳しく
 4. お客様名、住所、電話番号

（転居されるとき）

- ・ガスには都市ガス13種類、およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

（保証・補修について）

- ・保証期間中は……保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。保証書紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ・保証期間経過後の故障修理についてお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後8年間です。

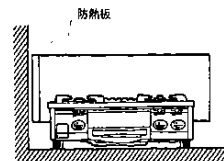
別売部品のご紹介

つぎのような別売部品を用意しています。
もよりの大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社でお求めください。

●防熱板(コードNO.: 15-100-0205,0206)

- ・設置場所で、可燃性の壁(ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む)から15cm以上離して設置できない場合、図のように取り付けて使用してください。

横用 15-100-0205
後用 15-100-0206



●ホースコック用プラグ(コードNO.: 81-450)

●器具用スリムプラグ(コードNO.: 81-359)

●ガステーブルコンロ用ガスコード

0.7m 80-480, 80-580
1.0m 80-481, 80-581
2.0m 80-482, 80-582

●ちり受け皿

(4) 15-100-0080

- ・器具の下、ガス台の上に設置してください。器具の下に落ちた煮こぼれはちり受け皿の上には落ちます。ときどき取り出して掃除していただくと、ガス台を汚さずに使用できます。

